

## 組織強化事業を企画して

集うことの大切さを感じて

組織委員会副委員長 細川 エリ子



撮影:細川エリ子氏(国立工芸館前)

今年に入り未曾有のコロナ危機に見舞われ、当女性会活動も自粛を余儀なくされました。

その中で何とか工夫を凝らし会員相互の交流を図り、皆の心を元気にしたいと浦委員長を中心に企画し、呼び掛けたところ、多くの方々から申し込みをいただきました。

組織委員会の「着物を着よう」のコンセプトのもと、大勢の方々和装で参加下さり、老舗

料亭「つば甚」でおいしいお料理を堪能し、そぞろ歩きで「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」へ移動しました。建築館では、水野一郎館長から建築館と世界で活躍する日本の建築家の作品を紹介いただきました。

続いて見学した、今話題の「国立工芸館」では、伝統的な緻密な技を誇る匠の作品の数々に感動し充実した時を過ごしました。

秋晴れにも恵まれ、久々に皆と集うことの大切さを感じた一日でした。



谷口吉郎・吉生記念金沢建築館2F

(株)Slacktide Tel222-2332

## 組織強化事業に参加して

ソーシャルディスタンスを保ちながら顔をあわせる機会が増えるといいな

アクシス(株)取締役 今井 一枝

今回、新型コロナウイルス感染症が収束していない中での「国立工芸館」「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」視察研修会に参加させていただきました。



見学先について、詳しく説明したパンフレットが当日配布された(作成:浦愉加組織委員長)

このような状況の中、役員の方々の会開催へのご苦労は大変だったと推測しますが、その分、すべてにおいてソーシャルディスタンスがなされ、かつ、楽しく有意義な時間を過ごせたことは感謝しかありません。

つば甚さんでの昼食もソーシャルディスタンスが保たれていて安心して話をし、食事をいただくことができました。お食事も本当に素晴らしくおいしかったです。

また、その時に配布された浦委員長作成の冊

子のお陰で、入館前にある程度知識をつけることができ、視察も分かりやすく楽しく見る事ができました。

「国立工芸館」「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」とも、前々から訪れたいと思っており、こちらもソーシャルディスタンスが保たれており、ゆっくり見る事ができました。

それぞれの建築も素晴らしかったですし、展示物も日ごろ見る事ができないものばかりで感激しました。今回の視察に参加できて本当に良かったです。

ありがとうございました。

今後この状況の中でも、今回のようにソーシャルディスタンスが保たれながらお会いできる機会が増えるといいな、と思います。



撮影:今井一枝氏(国立工芸館)

アクシス(株) Tel251-5451